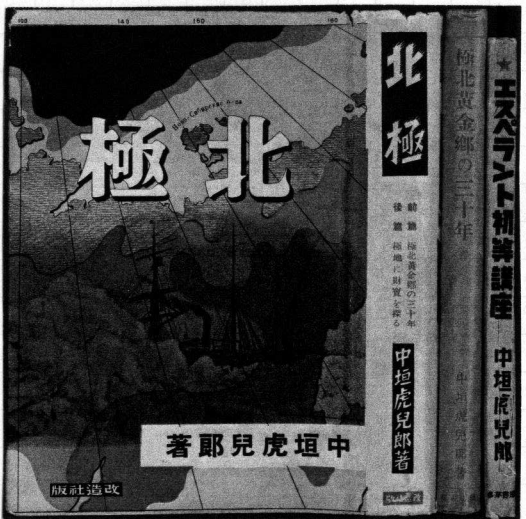
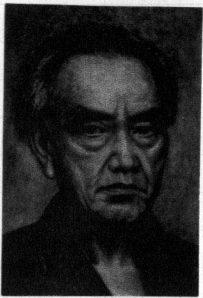


中垣虎兒郎 （中垣虎兒郎） エスペラント運動家。明治二十七年四月二十日熊本縣上益城郡乙女村生れ、昭和四十六年十一月十五日没（八九四—一九七二）。筆名河野直道、Fava Tigrido、K. Nakagaki、Koseinozin等。大正二年濟濟醫卒、四年京城中學校附屬小學校教員養成所を了る、渡鮮して小學校教師となる。十五年日本エスペラント學會入會、爾後數種のエスペラント組織に參與。翌年「ポロレタリア・エスペラント講座」全六巻の編輯に參與。昭和八年雜誌「ポロレータ・エスペラント」に入社も、十五年再逮捕。十八年小山書店入社。戦後は二十四年江崎誠致の興した冬芽書房を経てハト書房勤務、二十九年平凡社嘱託、二十二年日本エスペラント學會の機關誌『La Revuo Orienta』編輯。趣味は油繪、クレヨン畫を描き、晚年個展開催。

著譯書『極北黄金郷の二十年』（ヤン・ウエルツル原著、昭和八年二月十五日鐵塔書院）、『北極』（昭和十年六月二十一日改造社）、『鐵塔實験室』（昭和十年十一月十五日日本エスペラント學會「エスペラント文庫」）、『ステン・ブルグマン著「カムチャツカ紀行」』（譯、昭和十年二月二十六日改造社「改造文庫」）、『エスペラント初等講座』

（昭和二十四年七月二十日冬芽

書房）等。柴田巖著『中垣虎兒郎—自中エスペラ



『下野の飾』(平成二十二年五月) 千七百大版・リグーロイ社「リグー
ロイ双書」刊。